

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年7月12日
【四半期会計期間】	第38期第1四半期（自平成25年3月1日至平成25年5月31日）
【会社名】	株式会社ピクルスコーポレーション
【英訳名】	PICKLES CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮本 雅弘
【本店の所在の場所】	埼玉県所沢市くすのき台3丁目18番地の3
【電話番号】	04（2998）7771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼財務部長 三品 徹
【最寄りの連絡場所】	埼玉県所沢市くすのき台3丁目18番地の3
【電話番号】	04（2998）7771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼財務部長 三品 徹
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第1四半期連結 累計期間	第38期 第1四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成24年3月1日 至平成24年5月31日	自平成25年3月1日 至平成25年5月31日	自平成24年3月1日 至平成25年2月28日
売上高 (千円)	6,204,495	6,493,375	24,063,636
経常利益 (千円)	182,963	497,307	974,587
四半期(当期)純利益 (千円)	90,324	300,696	570,959
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	83,967	321,975	590,372
純資産額 (千円)	6,270,376	7,023,490	6,778,250
総資産額 (千円)	13,568,848	14,768,439	13,786,021
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	14.12	47.02	89.29
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	46.2	47.5	49.1

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和などの各種政策による円安や株価上昇があり、景気回復への期待が高まっておりますが、海外景気に対する不安感や原材料価格の上昇など、依然として経済環境の不透明感は払拭されない状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心、低価格志向などが続く中、プライベートブランド商品の開発、円安による原材料価格の高騰への対応や食の安全・安心への取り組み強化などが求められております。

このような状況のもと、当社グループは、全国の製造・販売拠点を活用した営業活動、ラジオCMなどの広告宣伝活動及び売場提案などの販売促進活動を積極的に実施し、既存得意先への拡販や新規取引先の開拓を行いました。製品開発面では、国産ゴーヤを使用した「ご飯がススムほろにがゴーヤキムチ」や独自に研究した植物性乳酸菌・Pne-12（ピーネ12）を使用した「生きて腸まで届くピーネ乳酸菌キムチ」などの開発を行い、販売をいたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高については、「ご飯がススムキムチ」などのキムチ製品や惣菜製品などが好調に推移し、6,493百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

利益につきましては、前第1四半期連結累計期間は天候不順の影響などにより原料野菜の仕入価格が高騰しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は原料野菜の仕入価格が安定したことや、売上高増加による影響などにより、営業利益440百万円(前年同四半期比150.4%増)、経常利益497百万円(前年同四半期比171.8%増)、四半期純利益は300百万円(前年同四半期比232.9%増)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて982百万円増加し、14,768百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金、及び建設仮勘定の増加によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて737百万円増加し、7,744百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて245百万円増加し、7,023百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は50,191千円であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,592,000
計	23,592,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年7月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,398,000	6,398,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,398,000	6,398,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日	-	6,398,000	-	740,900	-	707,674

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年2月28日現在の株主名簿により記載しております。

## 【発行済株式】

平成25年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,393,800	63,938	-
単元未満株式	普通株式 800	-	-
発行済株式総数	6,398,000	-	-
総株主の議決権	-	63,938	-

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式15株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ピックルスコーポ レーション	埼玉県所沢市くすのき台3 - 18 - 3	3,400	-	3,400	0.05
計	-	3,400	-	3,400	0.05

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日）及び第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,895,221	2,011,459
受取手形及び売掛金	2,192,020	2,694,086
商品及び製品	128,947	160,947
仕掛品	36,988	37,181
原材料及び貯蔵品	140,963	173,930
繰延税金資産	55,331	55,178
その他	72,179	45,775
貸倒引当金	1,981	2,660
<b>流動資産合計</b>	<b>4,519,670</b>	<b>5,175,898</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,790,112	1,820,855
機械装置及び運搬具（純額）	551,376	570,351
土地	6,058,211	6,058,211
リース資産（純額）	101,083	95,125
建設仮勘定	93,007	329,425
その他（純額）	14,072	20,230
<b>有形固定資産合計</b>	<b>8,607,864</b>	<b>8,894,198</b>
<b>無形固定資産</b>	79,422	82,440
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	291,808	337,800
繰延税金資産	192,906	183,753
その他	134,348	94,347
貸倒引当金	40,000	-
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>579,064</b>	<b>615,901</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>9,266,351</b>	<b>9,592,540</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,786,021</b>	<b>14,768,439</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,836,643	2,356,371
短期借入金	850,000	791,800
1年内返済予定の長期借入金	915,449	790,518
リース債務	41,319	41,563
未払法人税等	138,385	195,469
賞与引当金	91,074	35,662
役員賞与引当金	42,700	-
その他	727,509	1,210,959
流動負債合計	4,643,080	5,422,343
固定負債		
長期借入金	1,408,678	1,383,444
リース債務	116,965	106,480
繰延税金負債	7,941	9,866
退職給付引当金	271,958	268,707
役員退職慰労引当金	126,382	128,656
負ののれん	397,308	387,923
その他	35,457	37,527
固定負債合計	2,364,691	2,322,605
負債合計	7,007,771	7,744,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	740,900	740,900
資本剰余金	669,100	669,100
利益剰余金	5,344,183	5,568,145
自己株式	1,407	1,407
株主資本合計	6,752,776	6,976,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,093	38,713
その他の包括利益累計額合計	18,093	38,713
少数株主持分	7,380	8,039
純資産合計	6,778,250	7,023,490
負債純資産合計	13,786,021	14,768,439



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	6,204,495	6,493,375
売上原価	4,877,911	4,828,565
売上総利益	1,326,583	1,664,810
販売費及び一般管理費	1,150,606	1,224,220
営業利益	175,977	440,590
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	402	402
負ののれん償却額	9,385	9,385
持分法による投資利益	-	13,264
受取賃貸料	4,287	4,287
貸倒引当金戻入額	-	29,363
その他	5,344	7,576
営業外収益合計	19,419	64,279
営業外費用		
支払利息	7,891	7,563
持分法による投資損失	4,349	-
その他	193	-
営業外費用合計	12,433	7,563
経常利益	182,963	497,307
特別利益		
補助金収入	2,283	862
特別利益合計	2,283	862
特別損失		
固定資産処分損	645	196
特別損失合計	645	196
税金等調整前四半期純利益	184,601	497,973
法人税等	93,902	196,604
少数株主損益調整前四半期純利益	90,699	301,369
少数株主利益	374	672
四半期純利益	90,324	300,696

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,699	301,369
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,732	20,606
その他の包括利益合計	6,732	20,606
四半期包括利益	83,967	321,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,629	321,317
少数株主に係る四半期包括利益	338	658

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

## (税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 【注記事項】

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)、のれん及び負ののれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
減価償却費	87,881千円	93,765千円
負ののれん償却額	9,385	9,385

(注) のれんの償却額は金額的重要性がないため、記載を省略しております。

## (株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月30日 定時株主総会	普通株式	95,920	15	平成24年2月29日	平成24年5月31日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	76,735	12	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間  
(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

当社グループは、漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	14円12銭	47円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	90,324	300,696
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	90,324	300,696
普通株式の期中平均株式数(株)	6,394,705	6,394,585

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月12日

株式会社ピクルスコーポレーション  
取締役会 御中

### 監査法人日本橋事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 梅 林 邦 彦 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 山 村 浩 太 郎 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 千 保 有 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ピクルスコーポレーションの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ピクルスコーポレーション及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。